

2.4 一般財団法人札幌市環境事業公社

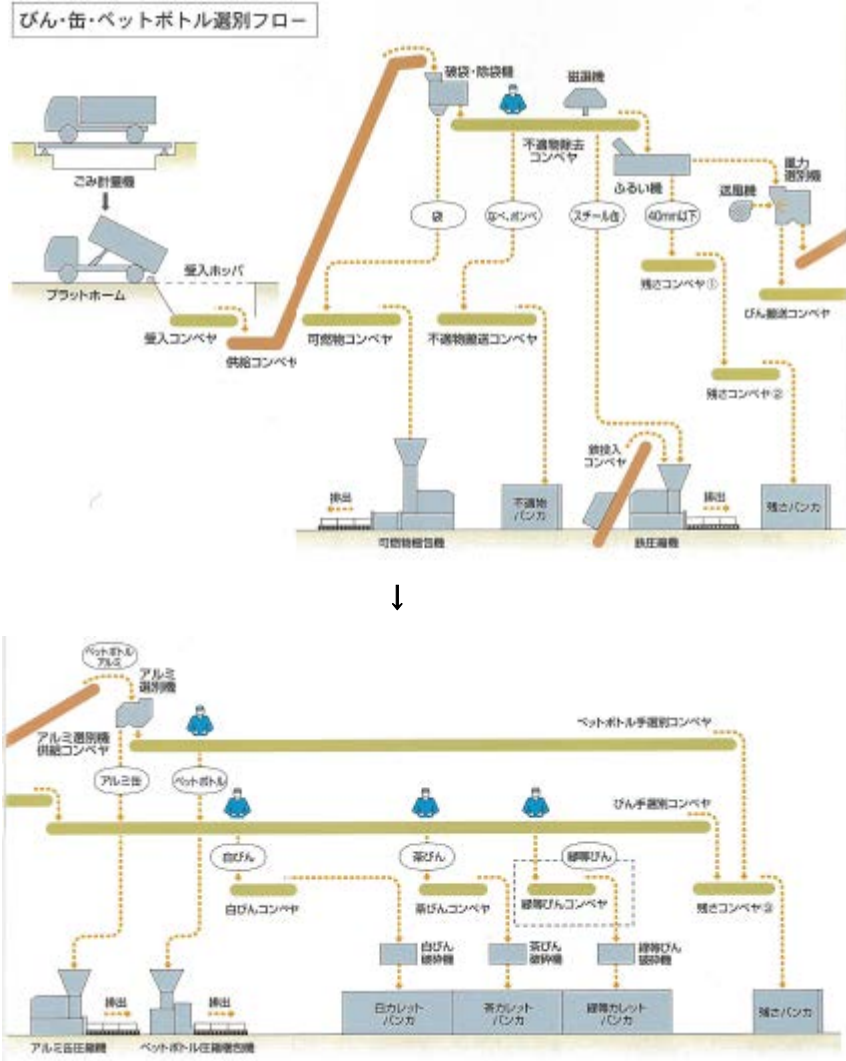
2.4.1 事業者情報

名 称	一般財団法人札幌市環境事業公社			
本社住所	〒060-0031	札幌市 中央区 北1条 東1丁目 サン経成ビル		
資本金、出資金	4,000 万円			
従業員数	78 人			
設立年月日	平成 2 年			
URL	http://www.kankyou-sapporo.jp			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・調査啓発事業 ・不燃用プリペイド袋リサイクル事業 ・資源化事業 ・事業系ごみ収集運搬事業 			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	施設部 調整課		
	担当者名	井鳥 太郎		
	連絡先	電話番号	011-219-2053	
		FAX	011-219-0882	
Eメールアドレス		itori@kankyou-sapporo.jp		

2.4.2 技術情報

キーワード	びん・缶・ペットボトル
技術名称	資源選別(びん・缶・ペットボトル)
技術の分類	選別及び減容・圧縮
目的・用途	資源物(びん・缶・ペットボトル)を選別しリサイクルする
特長	混合収集された資源物(びん・缶・ペットボトル)を品目ごとに選別し、圧縮・梱包等の処理を行い再商品化事業者へ引き渡して再生利用している
設備、製品等の写真、イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div> <p>ペットボトル梱包物</p>  <p>選別された資源物 (びん・缶・ペットボトル)</p> </div> <div> <p>アルミ圧縮物</p>  <p>中沼資源選別センター (びん・缶・ペットボトル選別施設)で 再選別し、圧縮・梱包した資源物(例)</p> <p>アルミ缶</p> </div> <div> <p>スチール圧縮物</p>  <p>ペットボトル</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>●木くず主体ごみ</p>  <p>●木くず</p>  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>→ 破碎機 →</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>●紙くず主体ごみ</p>  <p>●紙くず</p>  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>→ 破碎機 →</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>●PETプラ主体ごみ</p>  <p>●プラスチック</p>  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>→ 破碎機 →</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>●成形工程</p>  <p>前処理を終えた原料を成形機で圧縮し、固形化します。圧縮時に発生する摩擦熱で原料の組成成分であるプラスチックを溶かし、固形化に必要な接着の役目を果たしています。</p> </div> </div>

処理フロー図



廃棄物の種類	一廃・産廃	びん	受入条件、形状	
	一廃・産廃	缶(スチール、アルミ)	受入条件、形状	
	一廃・産廃	PETボトル	受入条件、形状	
供給資源・製品	スチール		形状	圧縮物 (65cm × 65cm × 22cm)
	アルミ		形状	圧縮物 (65cm × 65cm × 22cm)
	ペットベール		形状	梱包品 (64cm × 43cm × 35cm)
	ガラスびん		形状	カレット

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	びん・缶・ペットボトル混合状態での受け入れが可能な為、混合収集を実施できる。また一年を通して安定処理できる施設である。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	容器包装リサイクル協会が指定する品質基準の製品が一年を通して安定的に供給できる。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学者数 平成24年度実績 3,295人

2.4.3 実績情報

	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	アルミ	1,410.93	2,343.62	t
	スチール	2,037.10	2,317.32	t
	ペットボトル	4,348.05	4,833.44	t
	白びん	1,969.44	3,064.49	t
	茶びん	1,813.57	2,683.17	t
	その他びん	1,240.46	2,198.93	t
受入可能量	びん缶ペットボトル混合	-	約 28,000	t
販売実績量の推移	アルミ	1,410.93	2,343.62	t
	スチール	2,037.10	2,317.32	t
主な調達先	札幌市内家庭から排出される資源物(びん・缶・ペットボトル) 札幌市内事業所から排出される資源物(びん・缶・ペットボトル)			
主な供給先	再商品化事業者(ガラス・金属・PET)			

2.5 株式会社タイヤリサイクル北海道

2.5.1 事業者情報

名 称	株式会社タイヤリサイクル北海道			
本社住所	〒007-0890	札幌市東区中沼町45-55		
資本金、出資金	40,000 千円			
従業員数	6 人			
設立年月日	平成 10 年 2 月			
URL				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック類、金属くずの収集運搬業 ・廃タイヤの破碎と選別、ゴムホース、コンベアベルトの切断などを行っている中間処理施設 			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	株式会社 タイヤリサイクル北海道		
	担当者名	平間 修		
	連絡先	電話番号	011(791)5349	
		FAX	011(791)5342	
E メールアドレス		bz260345@bz04.plala.or.jp		

2.5.2 技術情報

キーワード	廃タイヤ・ゴムチップ			
技術名称	廃タイヤ32分割破碎、コンベアベルト、ゴムホース切断			
技術の分類	収集・運搬、破碎・選別、切断			
目的・用途	廃タイヤ・チップは製紙会社、セメント会社などで燃料として使われています。			
特長	石炭などの化石燃料より安価でカロリーが高い			
設備、製品等の写真、イメージ	<p>●ビードワイヤー採取機 ●TB(トラック・バス)・LT(小型トラック) タイヤ自動破碎機 ●TB(トラック・バス)・LT(小型トラック) タイヤ自動切断機 ●PC(乗用車)タイヤ自動破碎機 ●PC(乗用車)タイヤ自動切断機 ●製屑機</p>			
処理フロー図	<p>廃タイヤ切断工程図</p> <p>トラック・バス・LT(小型トラック) 廃タイヤ受入れ → 2分割 → TB-LTタイヤ自動破碎機(16分割) → 32分割 → TB-LTタイヤチップストックヤード → トラックチップ搬出</p> <p>PC(乗用車)タイヤ受入れ → 2分割 → PCタイヤ自動破碎機(16分割) → 32分割 → PCタイヤチップストックヤード → PCチップ搬出</p>			
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	原形のまま、泥などが入っていない
	一廃・産廃	その他金属くず(品目:鉄及びアルミホイール)	受入条件、形状	廃タイヤにホイール組みされている物のみ受入
供給資源・製品	廃タイヤ・チップ		形状	32分割、16分割(小さいサイズのタイヤ)で6インチぐらいに切断

	廃タイヤ・チップ		形状	建設用タイヤ、コンベアベルトなどは一枚刃でデマンドサイズに切断
	金属くず		形状	原形のままで、出荷
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	排出される廃タイヤは燃料として再生利用される。鉄及びアルミホイールは再資源として有効利用される。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	・販売価格:6 インチ片 2,000~3,000 円 発熱量:8,000kcal(PCR タイヤ)	
	その他		全国で唯一、タイヤ販売会社が中心となって運営されている。	

2.5.3 実績情報


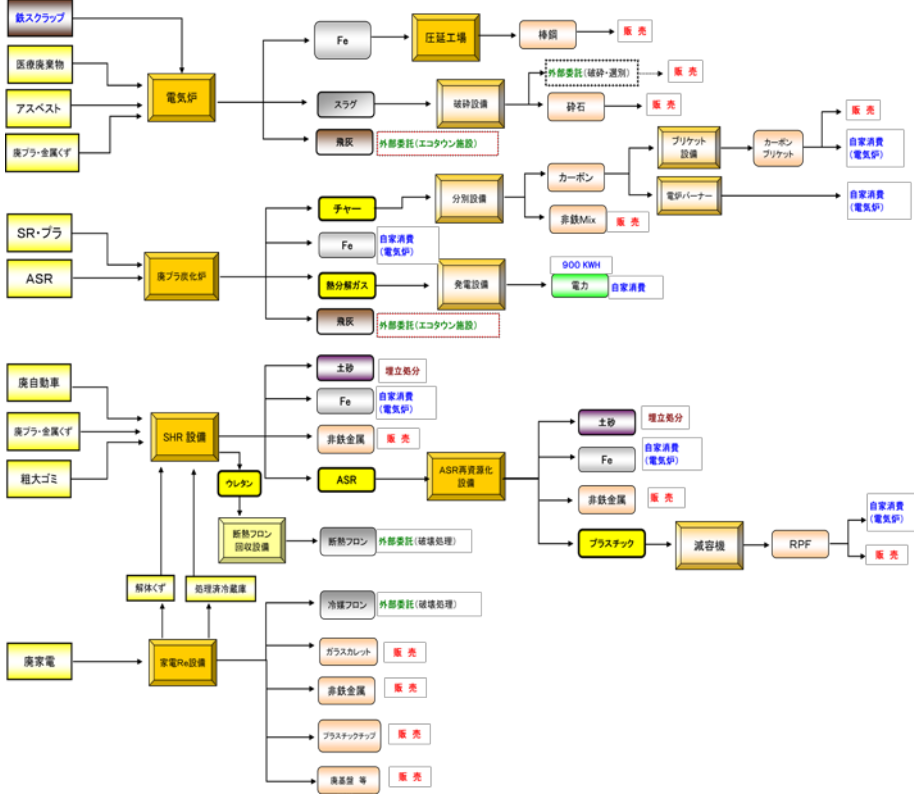
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃タイヤ	3,000	2,600	t
受入可能量	廃タイヤ	-	6,000	t
販売実績量の推移	廃タイヤ	3,200	2,500	t
	鉄くず	10	80	t
主な調達先	主にタイヤショップ、カーディーラー、ガソリンスタンド、運輸など			
主な供給先	主に製紙会社、セメント会社など			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・自社で収集運搬車両を所有(2 台) ・TBタイヤ専用ビードワイヤー抜取機を設置 			

3.2 東北東京鐵鋼株式会社（東京鐵鋼株式会社八戸工場）

3.2.1 事業者情報

名 称	東北東京鐵鋼株式会社(東京鐵鋼株式会社八戸工場)			
本社住所	〒039-1161	青森県八戸市河原木海岸 4-11		
資本金、出資金	275,001 千円			
従業員数	人			
設立年月日	平成 13 年			
URL	http://www.tokyotekko-recycle.jp			
事業概要	<p>東京鐵鋼八戸工場 1. 棒鋼の製造販売事業 <input type="checkbox"/>鉄筋コンクリート用棒鋼 <input type="checkbox"/>一般構造用棒鋼 <input type="checkbox"/>ネジフシ棒鋼 <input type="checkbox"/>ネジテツコン・ネジ継手</p> <p>2. 環境リサイクル事業 <input type="checkbox"/>特別管理産業廃棄物中間処理業（焼却・溶融） <input type="checkbox"/>産業廃棄物中間処理業（焼却・溶融） 東北東京鐵鋼(株) <input type="checkbox"/>産業廃棄物中間処理業（破碎選別・焼却）<input type="checkbox"/>特定家庭用機器(家電)のリサイクル事業 <input type="checkbox"/>使用済み自動車のリサイクル事業</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	資源営業部		
	担当者名	東 一洋		
	連絡先	電話番号	0178-28-6561	
		FAX	0178-28-6565	
Eメールアドレス		kazuhiko_higashi@tokyotekko.co.jp		

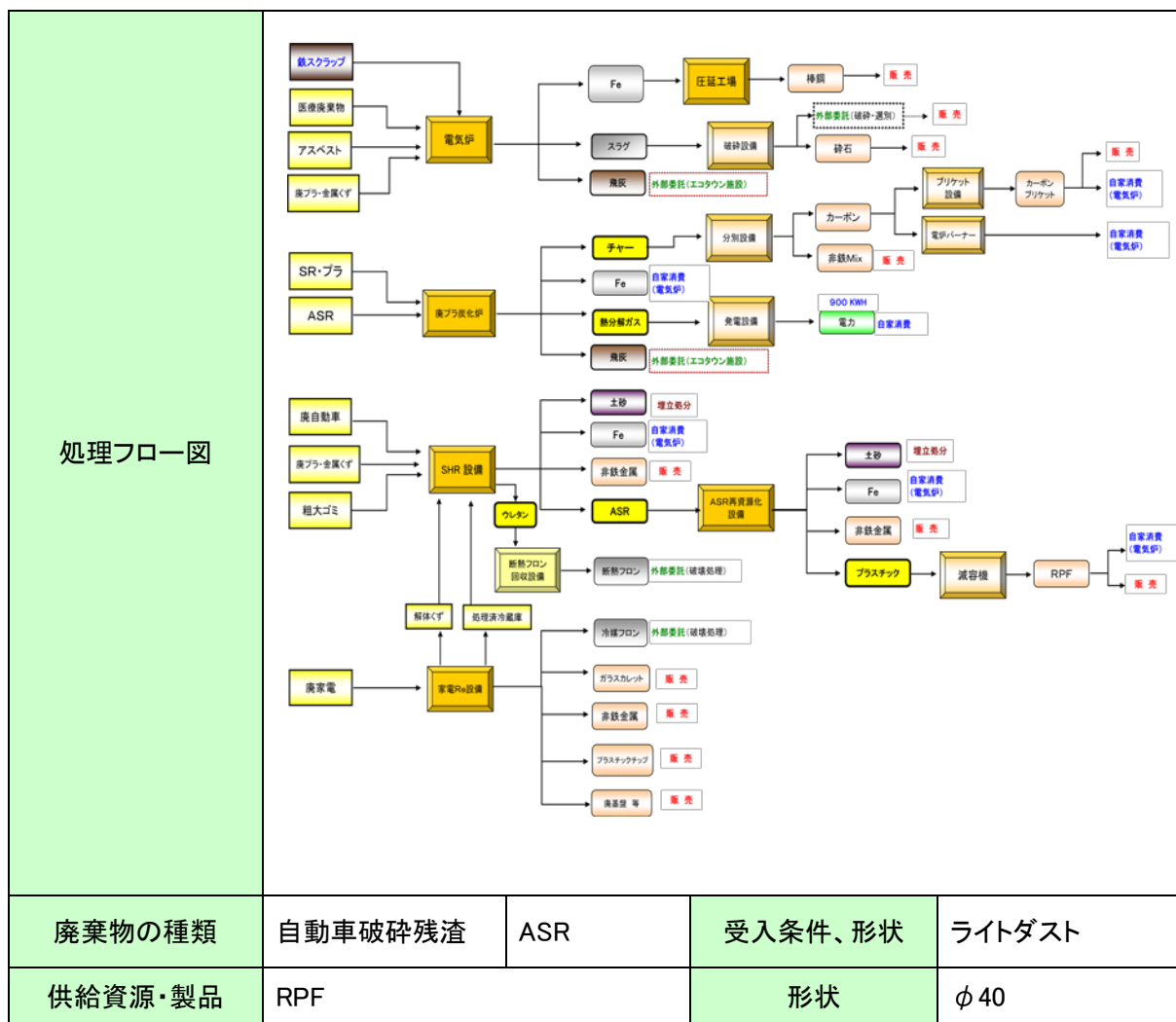
3.2.2 技術情報(1)

<p>キーワード</p>	<p>処理困難物</p>
<p>技術名称</p>	<p>製鋼電気炉による超高温処理</p>
<p>技術の分類</p>	<p>その他(溶融)</p>
<p>目的・用途</p>	<p>残渣の極小化と無害化処理</p>
<p>特長</p>	<p>安心・安全なリサイクル</p>
<p>設備、製品等の写真、イメージ</p>	
<p>処理フロー図</p>	

廃棄物の種類	特管産廃	廃石綿等	受入条件、形状	2重プラスチック袋をフレコン梱包・ドラム缶
	特管産廃	感染性医療廃棄物	受入条件、形状	専用容器
	産廃	汚泥(電池)	受入条件、形状	鉄製缶容器
	産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	フレコン梱包
供給資源・製品	砕石		形状	0-40
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	完全無害化が可能で安全にリサイクルできます。	

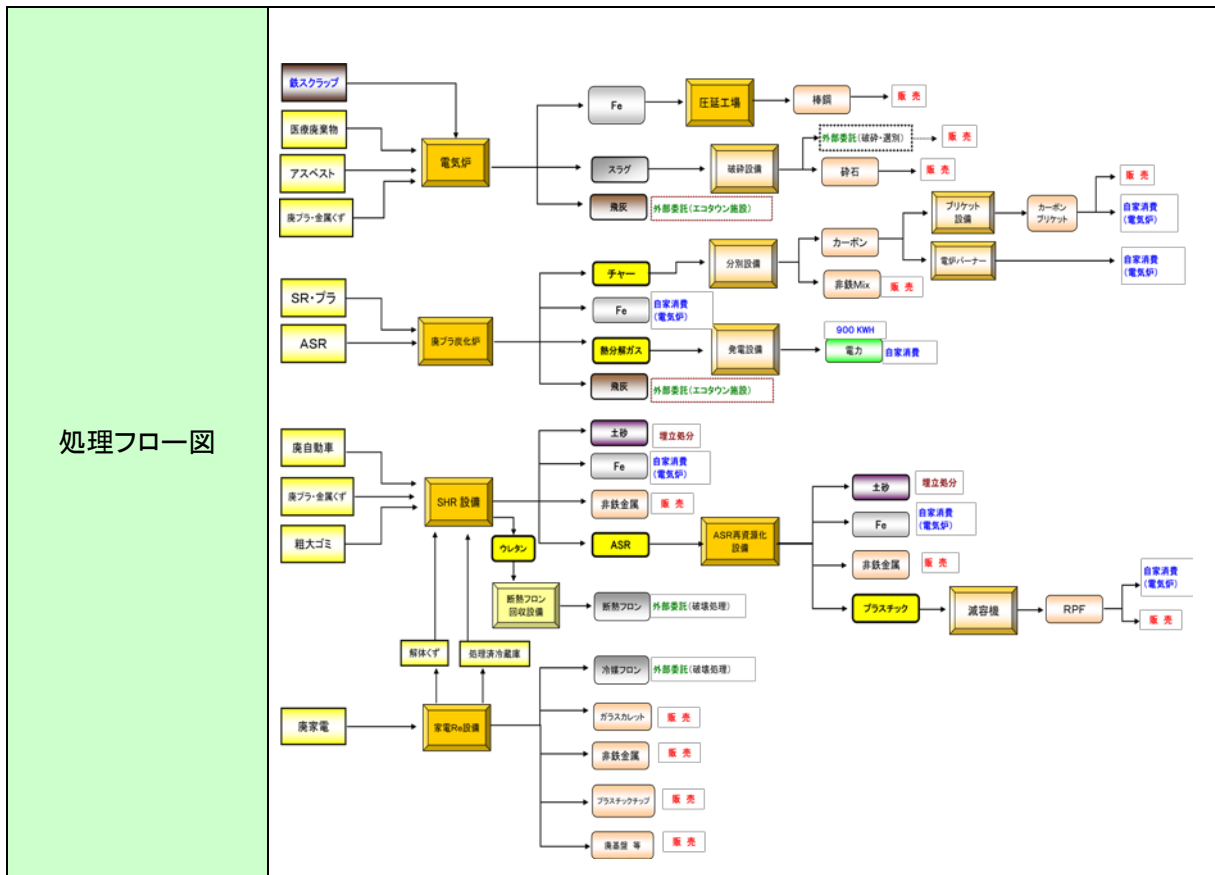
3.2.3 技術情報(2)

キーワード	ASRの再資源化処理		
技術名称	高度破碎選別		
技術の分類	破碎・選別・固形燃料化		
目的・用途	ASR(軽量物)の破碎選別		
特長	破碎選別で鉄や非鉄類の有用金属が回収された後、有機物は固形化され電気炉で燃料や還元材として活用されます。		
設備等の写真			




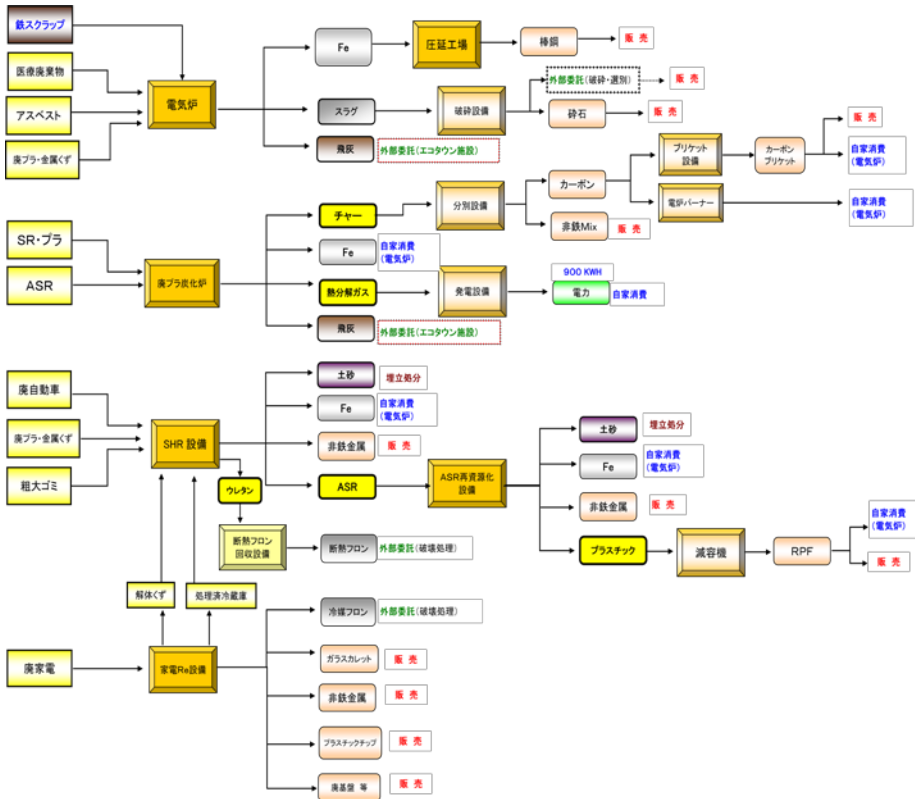
3.2.4 技術情報(3)

キーワード	ASR・廃プラ
技術名称	廃プラ炭化技術
技術の分類	その他(熱分解ガス化)・廃棄物発電
目的・用途	ASR・廃プラ等の熱分解ガス化
特長	ASR や廃プラスチック等はこの施設で熱分解されて粉体カーボンとして加工され、鉄をつくる際の原料や燃料になります。発生した熱分ガスは発電設備に使われます。
設備、製品等の写真、イメージ	



廃棄物の種類	自動車破碎残渣	ASR	受入条件、形状	
	産廃	廃プラスチック	受入条件、形状	破碎プラスチック
	粉体カーボン		形状	微粉
供給資源・製品	廃棄物等排出者側のメリット		<ul style="list-style-type: none"> ・焼却埋立処分されず新たな資源(粉体カーボン)としてリサイクルされます。 ・塩素を含まない廃プラであれば、どんな種類の廃プラでも受け入れ可能です。 	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	完全無害化が可能で安全にリサイクルできます。	

3.2.5 技術情報(4)

キーワード	金属くず			
技術名称	破碎・選別			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	金属くず等廃棄物資源の破碎選別による資源回収			
特長	廃車・廃家電・廃自販機・廃プラスチック等を破碎し素材ごとに選別・回収する施設です。			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	金属くず	受入条件、形状	厚さ3 mm 以下・長さ1000 mm 程度まで
	産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	バラ品
供給資源・製品	鉄屑		形状	シュレッダー

3.2.6 実績情報

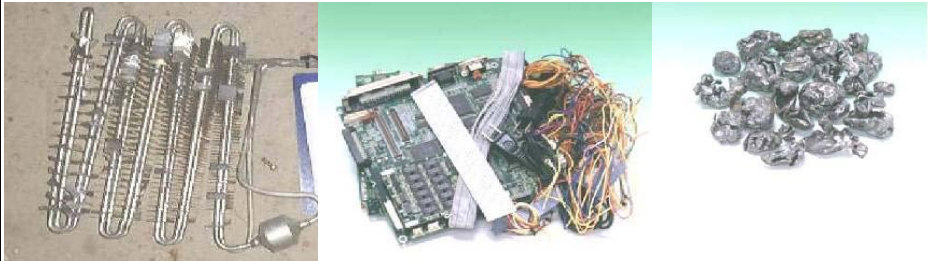
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	感染性廃棄物	非公開	非公開	t
	廃プラスチック類	非公開	非公開	t
	金属くず	非公開	非公開	t
受入可能量	感染性廃棄物	-	非公開	t
	廃プラスチック類	-	非公開	t
	金属くず	-		
販売実績量の推移	砕石	-	非公開	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			

4.5 株式会社エコリサイクル

4.5.1 事業者情報

名 称	株式会社エコリサイクル			
本社住所	〒 017-0005	秋田県大館市花岡町字堤沢 42 番地		
資本金、出資金	150,000 千円			
従業員数	54 人			
設立年月日	平成 11 年			
URL	http://www.dowa-eco.co.jp/business/recycle/home_ele_recycle/ecorecycle.html			
事業概要	<p>秋田県北部にはエコタウン事業により環境・リサイクル企業が集中的に立地し、エコリサイクルはその中核企業として廃家電等のリサイクルを行っています。家電リサイクル法により秋田県、青森県、岩手県から排出される廃家電(テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機)やパソコンなど OA 機器類を手分解、機械破碎選別して資源を回収しています。回収した非鉄金属、貴金属類はグループ会社で製錬される他、廃棄物もグループ会社で適正に処理されます。また、平成 25 年 8 月、小型家電リサイクル法の認定事業者となり、同年より秋田県、青森県、岩手県を対象に使用済小型電子機器等の回収、処理事業をスタートしました。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名			
	担当者名	狩野 真吾		
	連絡先	電話番号	0186-47-1001	
		FAX	0186-47-1002	
E メールアドレス		kanous@dowa.co.jp		

4.5.2 技術情報

キーワード	廃家電、小型家電			
技術名称	家電リサイクル			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	廃家電等の破碎・選別により回収された有用物は、各種金属やプラスチック等のリサイクル原料として使用されます。冷蔵庫の断熱材フロンも適切に処理可能。			
特長	品目の組成に応じた適切な処理フローにより効率的に有用物を回収可能。破碎設備内の断熱材フロンを隣接する熱処理施設に配管送風し熱分解することが可能。			
設備、製品等の写真、イメージ	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 冷蔵庫ラジエータ 基板 鉄スクラップ </div>			
処理フロー図	<pre> graph LR A[手分解] --> B[縦型破碎] B --> C[磁力選別] C --> D[渦電流選別] D --> E[残さ(熱処理)] B --> B1[フロン(熱処理)] C --> C1[鉄] D --> D1[非鉄金属] </pre>			
廃棄物の種類	一廃	廃家電 4 品目(TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)	受入条件、形状	家電 B グループ製品のみ
	一廃	廃小型家電類 (家電 4 品目以外)	受入条件、形状	秋田・青森・岩手のみ
	産廃	廃小型家電類 (家電 4 品目以外)	受入条件、形状	特になし
	有償	その他金属くず (品目:パソコン等 OA 機器類)	受入条件、形状	特になし
供給資源・製品	鉄スクラップ		形状	破碎粒 (50mm 程度)
	非鉄混合物		形状	破碎片 (50mm 程度)
	プラスチック		形状	破碎粒 (10mm 程度)

	ガラス	形状	破碎片(20 cm以下)
	基板	形状	未破砕物、破砕屑
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・家電リサイクル法に則った適切な処理により国内の資源循環に貢献 ・一廃由来である廃小型家電の処理では、自治体の処理コスト減、処理施設延命化等に寄与
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	<ul style="list-style-type: none"> ・銅・貴金属含有物(基板、銅線等)は非鉄製錬原料として使用可能 ・プラスチックはマテリアルリサイクル可能な品質を保持
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 取得による環境マネジメントを実施 ・地域の環境イベントや出前講座など積極的に実施 ・年間見学者数 約千人(H24 年度実績)

4.5.3 実績情報



	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃家電4品目	非公開	非公開	t
受入可能量	廃家電4品目	-	非公開	t
販売実績量の推移	有価物総量	非公開	非公開	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
技術開発の実績(過去5年間)	非公開			
補助金等支援策の活用実績(過去5年間)	非公開			

7.5 東日本資源リサイクル株式会社

7.5.1 事業者情報

名 称	東日本資源リサイクル株式会社			
本社住所	〒292-0011	千葉県富津市新富 21 番地 1		
資本金、出資金	100,000 千円			
従業員数	39 人			
設立年月日	平成 10 年			
URL	http://www.earc.jp/corp/img/corp_head.jpg			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の集荷・分解・処理 ・リサイクル/リビルド/新品汎用パーツの製造販売 ・鉄、非鉄などの素材の製造販売 ・車両の処理再利用の実証研究等の受託 			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	業務課		
	担当者名	武田敏雄		
	連絡先	電話番号	0439-80-1481	
		FAX	0439-80-1482	
E メールアドレス		t-takeda@earc.jp		

7.5.2 技術情報

キーワード	精緻な解体		
技術の分類	収集・分解・破碎		
目的・用途	高純度メタル・プラスチック・リサイクル		
特長	組立の逆手順で精緻な分別解体による部品・素材の回収		
設備、製品等の写真、イメージ	 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px;">ライン</div>  <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px;">サイコロプレス</div>		
処理フロー図	<p style="text-align: right;">注記) カギカッコ内は、売却予定先</p> <p>処理フロー</p> <pre> 受入先 → 使用済み車輦(ELV) → 受入保管 → パーツ回収 → 液類回収 → 非金屬回収 → 解体 → 非鉄回収 → 圧縮成型 </pre> <p>輸送依頼先・自社 (各ディーラー、中古車販売店等より集荷)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① フロンガス → 破壊処理委託 ② 液類 (ガソリン・軽油・オイル・LLC) → 再生処理委託 ③ ガラス → 再生処理委託 ④ 樹脂 → 再生処理委託 <p>鉄スクラップ、エンジン → 売却</p> <p>銅 → 売却</p> <p>高純度鉄スクラップ → 売却</p>		
供給資源・製品	サイコロプレス	形状	
	スクラップ・非鉄	形状	
	リサイクルパーツ	形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	全部利用者とのコンソーシアムにより、指定された品質基準の徹底化を遵守実施。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> ・全部利用者へのプレス品供出による表彰受賞 (TH及びART) ・見学者 H25年11月末時点 5,361人

7.5.3 実績情報


	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	ELV集荷	非公開	非公開	台
	ELV解体	非公開	非公開	台
受入可能量	ELV解体(三交替時)	-	非公開	台
販売実績量の推移	プレス(全体)	非公開	非公開	t
	スクラップ	非公開	非公開	t
	海外コンテナ	非公開	非公開	t
主な調達先	各ディーラー			
主な供給先	新日鐵住金(株)君津製鐵所他			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	平成 22 年 1 月 解体機導入			

8.4 株式会社リーテム

8.4.1 事業者情報

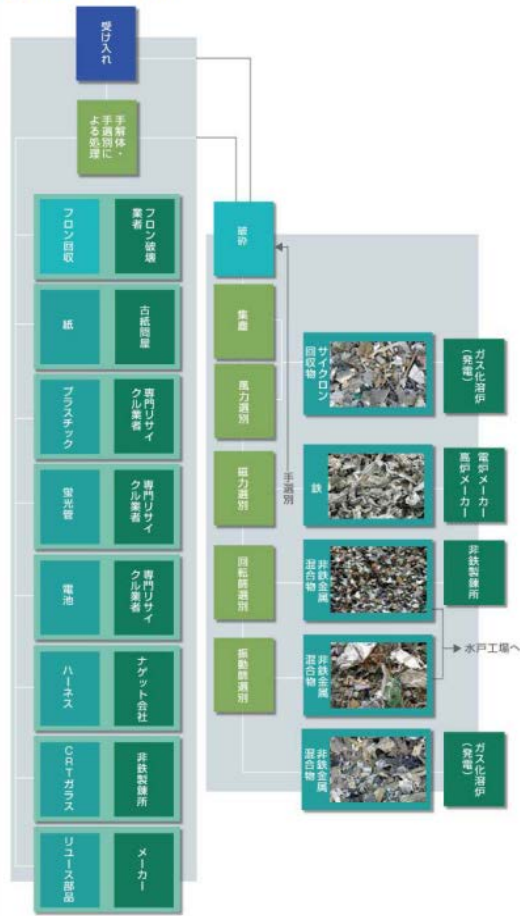
名 称	株式会社リーテム			
本社住所	〒101-0021	東京都千代田区外神田三丁目 6 番 10 号		
資本金、出資金	100,000 千円			
従業員数	146 人			
設立年月日	昭和 26 年 6 月 2 日			
URL	http://www.re-tem.com/			
事業概要	資源のリサイクル及びリユース / 製鋼原料及び非鉄貴金属原料の売買 / 建築物・工作物の解体・移設・撤去 / 資源循環・リサイクルに関するコンサルティング / エコインダストリアルパークなどにおけるリソースマネジメント及びエコセンターマネジメント / 産業廃棄物処分(中間) / 産業廃棄物収集運搬 / 一般廃棄物処分			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	マネジメント推進部		
	担当者名	工藤 博之		
	連絡先	電話番号	03-5256-7041	
		FAX	03-3251-5805	
E メールアドレス		hiroyuki-kudo@re-tem.com		

8.4.2 技術情報(1)

キーワード	高性能特殊破砕機による高精度リサイクル
技術名称	破砕・選別技術
技術の分類	破砕・選別
目的・用途	高性能特殊破砕機を導入し、鉄スクラップのリサイクルと共に、鉄以外の有用な非鉄貴金属を選別リサイクルしています。
特長	SET 内の東京工場と水戸工場の2工場連携：東京工場で破砕処理した非鉄金属混合物を水戸工場ですらに高品位処理、金銀銅滓、ステンレス、アルミニウム等に細かく選別し、埋め立て処分向けの廃棄物の発生を無くし、ゼロエミッションを達成させています。
設備、製品等の写真、イメージ	

処理フロー図

東京工場の処理フロー



*木くず(物品買貨業に係る木くず及び貨物の流通のために使用したパレットに限る)は、破砕後2次委託先で再資源化処理をしています。

廃棄物の種類

産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	廃小型家電類(家電4品目以外)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	その他金属くず(品目:金属系複合材・電子電気機器・情報通信機器)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	ガラスくず	受入条件、形状	
産廃	その他(コンクリートくず)	受入条件、形状	
産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	
産廃	廃木材	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
有償	その他(金属くず・廃プラ類)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
一廃	その他(普通ごみ)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可

供給資源・製品	鉄シュレッダー		形状	シュレッダー機械加工したもの
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・埋め立て処分向けの廃棄物の発生を無くし、ゼロエミッションを達成させています。 ・施錠保管、監視カメラ等万全を期すセキュリティ体制により情報漏洩や盗難を防止します。 ・再資源化完了報告書の発行サービスを実施しています。 	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	高性能特殊破碎設備及び2工場の連携により、高品位処理、金銀銅滓、ステンレス、アルミニウム等に細かく選別しており、純度が高い製品となります。	

8.4.3 技術情報(2)

キーワード	収集→処分→新規設置の一括請負によるワンストップサービス
技術名称	収集運搬技術
技術の分類	収集・運搬・保管
目的・用途	廃棄物・有価物の収集運搬
特長	貨物自動車運送事業(青ナンバー)を取得し、当工場への収集運搬の他、新しい什器・備品等の運搬・設置作業等も行い、業務管理の一元化をご提供しています。
設備等の写真	

廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	廃小型家電類(家電4品目以外)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	その他金属くず(品目:金属系複合材・電子電気機器・情報通信機器)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	
	産廃	その他(コンクリートくず)	受入条件、形状	
	産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	
	産廃	廃木材	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	貨物自動車運送事業(青ナンバー)を取得し、当工場への収集運搬の他、新しい什器・備品等の運搬・設置作業等も行い、業務管理の一元化をご提供しています。	

8.4.4 実績情報

	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	金属くず	4,700	9,900	t
	廃プラスチック類	1,200	2,200	t
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	280	590	t
	木くず	12	110	t
受入可能量	混合物	-	80,000	t
販売実績量の推移	金属くず	4,700	9,900	t
主な調達先	主に製造業、リース業など			
主な供給先	主に製鉄業など			

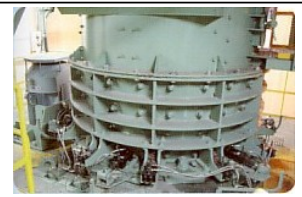


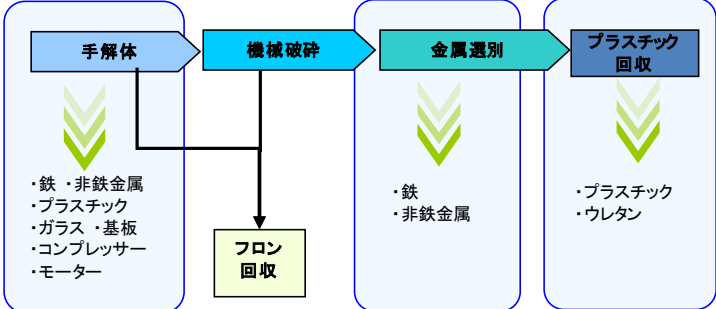
<p>技術開発の実績 (過去5年間)</p>	<p>平成23年3月より独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)助成事業「電子基板等からのタンタル回収の実用化にむけた研究開発」(以下、本事業)を実施し、その結果、世界初の電子基板からのタンタルコンデンサ回収のための実用可能なラインを構築しました。</p>
<p>海外展開の実績 (過去5年間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国太倉市の自社工場と国内自社工場の連携により、廃プラ類やハーネス類を中心に国際資源循環へ取り組んでいる。 ・中国天津市の天津経済技術開発区(TEDA)でEIDの実現を目指して事業展開を進めている。 <p>平成22年より経済産業省「茨城県-天津市循環型都市協力事業」として3年間、現地で工業系廃棄物のマテリアルフロー調査や産官学の協力体制づくり、廃棄物の管理報告制度の試験導入に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸国を中心に、海外拠点における廃電気電子機器等のリサイクル技術および設備の導入展開を行っている。
<p>補助金等支援策の活用実績(過去5年間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省「使用済小型家電の回収モデル事業(茨城県事業運営業務)」(H.20-H.22年) ・経済産業省「茨城県-天津市循環型都市協力事業」(H.22-H.25年) ・NEDO「電子基板等からのタンタル回収の実用化研究」(H.23-H.24年) ・環境省「静脈産業の海外展開促進のための実現可能性調査等支援事業」(H.24-H.25年) ・経済産業省「インフラ・システム輸出促進調査等」(H.24-H.25年)

9.2 JFE アーバンリサイクル株式会社

9.2.1 事業者情報

名 称	JFEアーバンリサイクル株式会社			
本社住所	〒210-0866	川崎市川崎区水江町 6 番 1 号		
資本金、出資金	300,000 千円			
従業員数	約 100 人			
設立年月日	平成 10 年			
URL	http://www.urrec.co.jp/			
事業概要	<p>1. 家電リサイクル法に規定される使用済み家電4品目の再商品化事業 2. その他家電製品、OA機器の再生処理による再資源化事業</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	業務部		
	担当者名	佐羽内 史訓 、 井関 力		
	連絡先	電話番号	044-270-5370	
		FAX	044-270-5385	
E メールアドレス		f.sabanai@urrec.co.jp / c.iseki@urrec.co.jp		

9.2.2 技術情報

キーワード	使用済み家電、4品目			
技術名称	使用済み家電再商品化			
技術の分類	その他(廃家電リサイクル)			
目的・用途	使用済み廃家電の再商品化、その他家電製品・OA機器の再資源化			
特長	使用済み廃家電からフロン類の回収、解体、破碎、選別等の工程を経て、鉄、非鉄、プラスチック等を効率よく回収し、隣接する製鉄所で利用。			
設備、製品等の写真、イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>破碎机</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>磁力選別機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ウレタン減容機</p> </div> </div>			
処理フロー図	 <pre> graph LR A[手解体] --> B[機械破碎] A --> C[フロン回収] B --> D[金属選別] D --> E[プラスチック回収] </pre> <p>手解体: ・鉄・非鉄金属、・プラスチック、・ガラス・基板、・コンプレッサー、・モーター</p> <p>機械破碎: ・フロン回収</p> <p>金属選別: ・鉄、・非鉄金属</p> <p>プラスチック回収: ・プラスチック、・ウレタン</p>			
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃家電 4 品目(TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)	受入条件、形状	
	産廃	その他金属くず(品目:鉄、銅、アルミ等)	受入条件、形状	
	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	
供給資源・製品	鉄スクラップ		形状	鉄屑、シュレッダー屑
	非鉄スクラップ(銅、アルミ類)		形状	
	プラスチック類		形状	破碎品
	その他(ハーネス、基板類他)		形状	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	使用済み廃家電からフロン類を確実に回収。解体、破碎、選別等の工程を経て鉄、非鉄、プラスチック類を効率よく回収し、9割を超える高い再商品化率を達成。隣接する製鉄所とのシナジー効果を生かしたりサイクルを行っております。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	平成 23 年度 川崎市「かわさき環境ショーウィンドウ大賞」 創エネ・省エネ部門入賞

9.2.3 実績情報

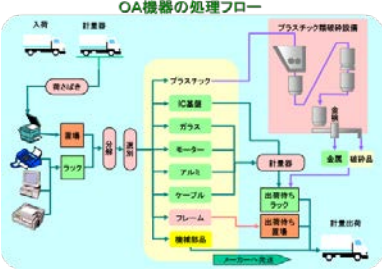
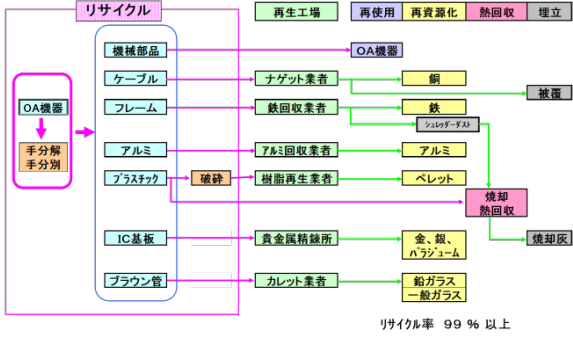
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃家電4品目他	非公開	非公開	台
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	社団法人新エネルギー導入促進協議会の平成 21 年度補助金にて太陽光発電設備導入			

22.2 株式会社リサイクルテック

22.2.1 事業者情報

名 称	株式会社リサイクルテック			
本社住所	〒 808-0021	北九州市八幡西区黒崎三丁目 9-24 ニッセイ新黒崎ビル 5F		
資本金、出資金	30,000 千円			
従業員数	26 人			
設立年月日	平成 10 年 12 月			
URL	http://www.shinryo-gr.com			
事業概要	使用済 OA 機器のリサイクル			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	株式会社 リサイクルテック		
	担当者名	越治 昭彦		
	連絡先	電話番号	093-752-5322	
		FAX	093-752-5323	
E メールアドレス		5600881@shinryo-gr.com		

22.2.2 技術情報

キーワード	OA 機器リサイクル、パソコンリサイクル、ゲーム機リサイクル		
技術名称	使用済み OA 機器、パソコン、ゲーム機、ATM 等の解体・リサイクル		
技術の分類	破碎・選別		
目的・用途	OA 機器、電気・電子機器などを分解・分別し再資源化し、新たな機器の部品、材料として提供する。		
特長	引き取った電気・電子機器を材質・材料ごとに一つ一つ丁寧に分解・分別を行って新たな機器などの部品や材料として提供します。		
設備、製品等の写真、イメージ	 <p>OA機器の処理フロー</p> <p>この図は、OA機器の処理プロセスを示しています。左側には「入荷」「計量器」「搬入ばさみ」などの工程があり、中央には「分解」「選別」の工程が示されています。右側には「プラスチック類破砕設備」「IC基板」「ガラス」「モーター」「アルミ」「ケーブル」「フレーム」などの部品が分別され、それぞれ「資源物」「金属 磁粉石」「出稼持ち出し」「出稼持ち出し」「資源物」へと送られます。</p>		
処理フロー図	 <p>OA機器リサイクルのしくみ</p> <p>この図は、OA機器のリサイクルのしくみを示しています。左側には「OA機器」が「手分解」「手分別」を経て「機械部品」「ケーブル」「フレーム」「アルミ」「プラスチック」「IC基板」「ブラウン管」へと分類されます。右側には「再生工場」「再使用」「再資源化」「熱回収」「埋立」などの工程が示されています。また、「ナゲット業者」「鉄回収業者」「アルミ回収業者」「樹脂再生業者」「貴金属精錬所」「カレット業者」などの業者がそれぞれ「銅」「鉄」「アルミ」「ペレット」「金、銀、ハジウム」「船ガラス一般ガラス」などの資源物を回収・処理しています。下部には「リサイクル率 99% 以上」と記載されています。</p>		
廃棄物の種類	一廃	廃小型家電類 (家電4品目以外)	受入条件、形状
	産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状
	産廃	その他金属くず(品目:)	受入条件、形状
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状
供給資源・製品	プラスチック	形状	圧縮梱包、ペレット
	IC基板	形状	フレコン
	非鉄金属、鉄スクラップ	形状	フレコン、バラ

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	二酸化炭素削減効果は以下の通り。(CO2-kg/台) コピー機 -86.925 ノートパソコン -0.529 デスクトップパソコン -5.547
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	年間見学者数約 3,000 人(H24 年度)

22.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃プラスチック	3,177	4,500	t
	金属くず	76	46	t
	ガラスくず	0	4	t
受入可能量	廃プラスチック	-	5,000	t
	金属くず	-	100	t
	ガラスくず	-	10	t
販売実績量の推移	プラスチック	非公開	非公開	t
	IC 基板	非公開	非公開	t
	非鉄金属、鉄スクラップ	非公開	非公開	t
主な調達先	OA 機器メーカー			
主な供給先	樹脂再生業者、金属回収業			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開			

22.5 株式会社ジェイ・リライツ

22.5.1 事業者情報

名 称	株式会社ジェイ・リライツ			
本社住所	〒808-0021	福岡県北九州市若松区響町一丁目 62 番地の 17		
資本金、出資金	275,000 千円			
従業員数	14 人			
設立年月日	平成 12 年			
URL	http://www.j-relights.co.jp			
事業概要	・使用済み蛍光管及び使用済み乾電池のリサイクル事業			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理部		
	担当者名	永浜 慎一郎		
	連絡先	電話番号	093-752-2386	
		FAX	093-752-2387	
E メールアドレス		j-nagaha@j-relights.co.jp		

22.5.2 技術情報

キーワード	蛍光管、乾電池、リサイクル蛍光管			
技術名称	蛍光管リサイクル技術			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	使用済み蛍光管を「ガラス」「金属」「蛍光粉」「水銀」の原料に分離、蛍光管の再資源化原料等として使われています。			
特長	使用済み蛍光管の処理による回収した再資源化原料を使用してリサイクル蛍光管を製造(OEM)、販売しています。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃	使用済み蛍光灯	受入条件、形状	原型管
	産廃	ガラスくず、金属くず、廃プラスチック類	受入条件、形状	
	一廃	使用済み一次電池	受入条件、形状	一次電池は水銀を含有しない
	産廃	汚泥、金属くず	受入条件、形状	

供給資源・製品	ガラスカレット		形状	
	蛍光体		形状	
	アルミ・鉄類		形状	
	水銀		形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されずに資源を再利用することで、使用済み蛍光管処理による平成 24 年度CO2低減効果は▲396 トン-CO2(北九州市立大学松本教授作成による CO2 排出量計算ソフト使用による試算値)、また資源の節減による環境影響の抑制や水銀による環境汚染の防止に貢献できる。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	・リサイクル蛍光管を購入することで、資源の節減に貢献できる。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・平成 21 年度資源循環・システム表彰(経済産業省技術環境局長)他 ・5,000 人/年の施設見学受入	

22.5.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	使用済み蛍光管	2,114	1,858	t
	使用済み乾電池	852	774	t
受入可能量	使用済み蛍光管	-	18.3	t/日(12 時間)
	使用済み乾電池	-	5.6	t/日(8 時間)
販売実績量の推移	リサイクル蛍光管	83.4	48.4	千本
主な調達先	<ul style="list-style-type: none"> ・中四国以西の自治体及び企業(使用済み蛍光管及び使用済み乾電池) ・東芝ライテック(リサイクル蛍光管) 			
主な供給先	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスチューブメーカー(ガラスカレット) ・自治体及び企業(リサイクル蛍光管) 			


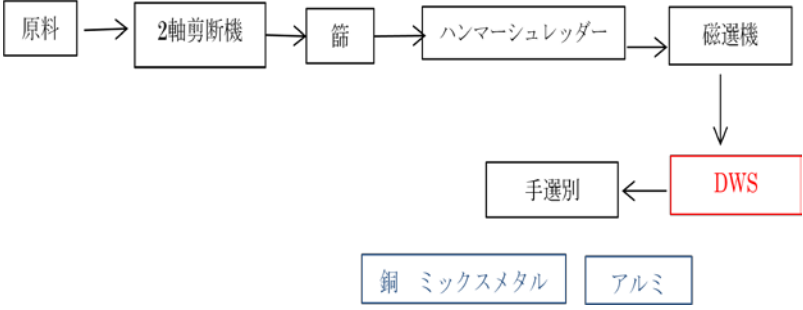
<p>技術開発の実績 (過去 5 年間)</p>	<p>・使用済み蛍光管からのレアアース回収、再資源化 (福岡県等との共同プロジェクト)</p>
<p>設備投資の実績 (過去 5 年間)</p>	<p>非公開</p>
<p>補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)</p>	<p>・北九州市「回収蛍光粉の高品位化」(H25 年度)</p>

22.10 日本磁力選鉱株式会社【ひびき工場】

22.10.1 事業者情報


名 称	日本磁力選鉱株式会社【ひびき工場】			
本社住所	〒802-0077	北九州市小倉北区馬借三丁目 6 番 42 号		
資本金、出資金	資本金: 448,600 千円			
従業員数	全社: 400 人 【工場従業員数: 16 人】			
設立年月日	会社創業年月: 昭和 24 年 12 月 【工場操業開始: 平成 17 年 10 月】			
URL	http://www.nmd.co.jp			
事業概要	<p>貴重な資源の国内循環システムの確立を目指し、平成 17 年家電及び自動車リサイクル事業所から発生する熱交換器を受入れ、自社開発による選別機により素材毎に分別回収し、高品位な非鉄原料として素材加工メーカーを中心に製品を提供(1 期事業)。平成 20 年には熱交換器のみならず家電ミックスメタル、自動車ハーネス等取扱対象品目を拡大(2 期事業)。平成 20 年小型電子機器類リサイクルの実証実験を経て、平成 24 年からは、小型電子機器類のリサイクルを開始(3 期事業)。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総合企画本部		
	担当者名	脇園玲子		
	連絡先	電話番号	093-521-4400	
		FAX	093-521-4167	
E メールアドレス		wakizono@nmd.co.jp		

22.10.2 技術情報(1)

キーワード	風力 選別 分離			
技術名称	1期:DWS(デウス:ドラム型風力選別機)			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	熱交換器から銅、アルミの分離			
特長	傾斜配置され掻揚板を備えた回転筒体の風力選別機。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	有償	その他金属くず (品目:熱交換器)	受入条件、形状	熱交換器単体
供給資源・製品	銅(99%)		形状	約-50mm チップ状 (フレコン)
	アルミ(99%)		形状	アルミブロック
	鉄		形状	約-50mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	◆貴重な資源の海外流出を防ぐ。 ◆各素材毎の選別回収が可能のため、製品としての用途が多様。(有利販売が図れる)	


	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	◆環境負荷削減効果 ◆安定かつ高品質原料として使用可能
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	◆特許 No.3263342 ◆見学者数 83組(平成 25 年度)

22.10.3 技術情報(2)

キーワード	選別 重液 ドラム型 分離			
技術名称	2 期:ドラム型重液選別機			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	原料(ミックスメタル)中の銅、アルミの分離			
特長	比重3に設定した疑似重液に原料を投入し、浮遊物でアルミ、沈降物で銅を回収する。			
設備等の写真				
処理フロー図	<pre> graph LR A[原料] --> B[トロンメ] B --> C[湿式選別機] C --> D[重液選別機] D --> E[アルミ選別] E --> F[手選別] F --> G[アルミ] F --> H[銅] F --> I[ミックスメタ] </pre>			
廃棄物の種類	有償	その他金属くず (品目: 廃家電ミックスメタル)	受入条件、形状	破碎物 (バラ、フレコン)
供給資源・製品	銅(99%)		形状	バラ
	アルミ(99%)		形状	バラ

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	◆貴重な資源の海外流出を防ぐ。 ◆各素材毎の選別回収が可能のため、製品としての用途が多様。(有利販売が図れる)
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	◆環境負荷削減効果 ◆安定かつ高品質原料として使用可能
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	◆見学者数 83組(平成25年度)

22.10.4 技術情報(3)

キーワード	基板 レアメタル 剥離 回転 衝撃 破碎機
技術名称	3期:RIM(リム Rotary Impact Mill: 回転型衝撃破碎機)
技術の分類	レアメタル・レアアース等希少金属回収
目的・用途	プリント基板搭載部品の剥離
特長	ドラム本体の被処理物を掻き揚げることにより、効率的な破碎・摩鋳が可能
設備等の写真	
処理フロー図	<pre> graph LR A[原料] --> B[ハンマージェンレーター] B --> C[磁選機] C --> D[非鉄選別機] D --> E[RIM] E --> F[篩] E --> G[プラスチック類] E --> H[貴金属濃縮物] </pre>

廃棄物の種類	有償	廃小型家電類 (家電4品目以外)	受入条件、形状	有姿 (ハルターナ、ボックス回収)
	有償	その他(産業用基板)	受入条件、形状	バラ、ラップ結束、 ダンボール箱
供給資源・製品	貴金属濃縮物 (金、銀、パラジウム)		形状	-10mm
	ベースメタル(アルミ、鉄、銅)		形状	+10mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	◆貴重な資源の海外流出を防ぐ。 ◆各素材毎の選別回収が可能のため、製品としての用途が多様。(有利販売が図れる)	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	◆環境負荷削減効果 ◆安定かつ高品質原料として使用可能	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	◆特許 No.2909503 ◆見学者数 83組(平成25年度)	

22.10.5 実績情報

	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	エアコン熱交換器	1,900	2,600	t
	廃家電ミックスメタル	900	1,040	t
	廃家電 ACコード・ハーネス	300	260	t
	他	3,300	100	t
	計	6,400	4,000	t
受入可能量	エアコン熱交換器	-	6,800	t
	廃家電ミックスメタル	-	4,300	t
	廃家電 ACコード・ハーネス	-	1,000	t
	他	-	1,000	t
	計		13,100	t

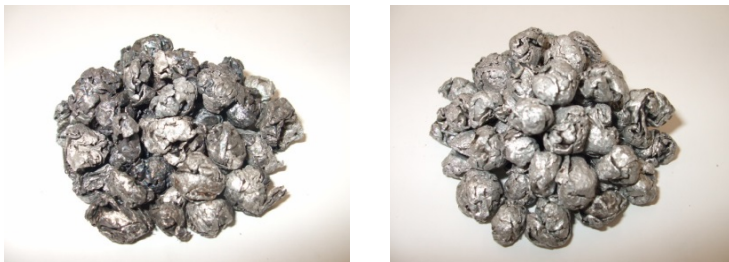
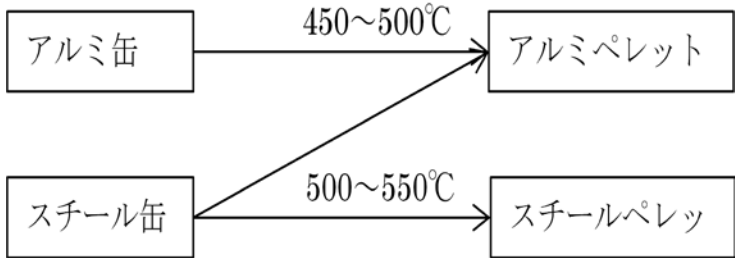
販売実績量の推移	アルミ	1,300	1,600	
	銅	1,000	1,500	
	他	2,800	700	
	計	5,100	3,800	
主な調達先	家電、自動車リサイクル事業所			
主な供給先	二次合金メーカー 銅製錬メーカー 伸銅メーカー 鉄鋼メーカー			
技術開発の実績 (過去5年間)	特許取得済:①ドラム型磁選機 ②風力選別機 ③重液選別機 ④回転型衝撃破砕機			
設備投資の実績 (過去5年間)	◆H20年、2期事業開始(ミックスメタル、電子基板、被覆銅線選別処理施設整備) ◆H24年、3期事業開始(小型電子機器及び廃基板類からのレアメタル・貴金属類のリサイクル)			
海外展開の実績 (過去5年間)	H25年 バーゼル条約に従って、インドより廃プリント基板類を輸入。			
補助金等支援策の活用実績(過去5年間)	北九州市:「環境未来技術開発助成金」 NEDO: ①「希少金属代替・削減技術実用化開発助成事業」 ②「インド E-Waste リサイクルシステム開発実証事業」 経産省: ①「インドにおける電気電子機器廃棄物リサイクルに関する実施可能性調査」 ②「ベトナムにおける…(①に同じ)」 ③「フィリピンにおける…(①に同じ)」			

22.14 (株)北九州空き缶リサイクルステーション


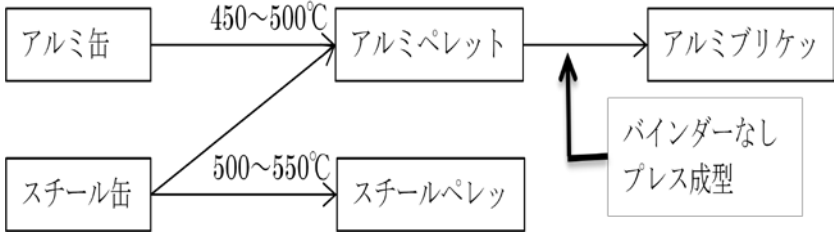
22.14.1 事業者情報

名 称	(株)北九州空き缶リサイクルステーション			
本社住所	〒808-0021			
資本金、出資金	68,000 千円			
従業員数	10 人			
設立年月日	平成 12 年			
URL	http://www.k-ars.co.jp			
事業概要	空き缶の高度リサイクル			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名			
	担当者名	三宅 憲一		
	連絡先	電話番号	093-752-5033	
		FAX	093-752-5055	
E メールアドレス		info@k-ars.co.jp		

22.14.2 技術情報(1)

キーワード	脱酸材、冷却材			
技術名称	空き缶の高度リサイクル技術			
技術の分類	加工・成型(再生品化)			
目的・用途	高炉・電炉メーカーへ脱酸材・冷却材として販売			
特長	空き缶を原料に、高歩留り・少化石燃料で加工された商品			
設備、製品等の写真、イメージ	 <p style="text-align: center;">スチールペレット アルミペレット</p>			
処理フロー図	 <pre> graph LR A[アルミ缶] -- "450~500°C" --> B[アルミペレット] C[スチール缶] -- "500~550°C" --> D[スチールペレット] </pre>			
廃棄物の種類	有償	その他金属くず (品目:アルミ缶)	受入条件、形状	ソフトプレス、バラ
	有償	その他金属くず (品目:スチール缶)	受入条件、形状	ソフトプレス、バラ
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	有価買取	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	脱酸塊に比べて安価	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	毎年 3,000 名以上の施設見学者あり 北九州エコプレミアム選定商品	

22.14.3 技術情報(2)

キーワード	脱酸材		
技術名称	ブリケット化技術		
技術の分類	加工・成型(再生品化)		
目的・用途	高炉メーカーへ脱酸材として販売		
特長	脱酸材であるアルミペレットと脱酸塊の中間に位置する商品(比重、ハンドリング)		
設備等の写真	 <p style="text-align: center;">アルミブリケット</p>		
処理フロー図			
供給資源・製品	アルミブリケット	形状	4 cm程度角の立方体 60~70g/個
アピールポイント	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	脱酸塊に比べて安価 アルミペレットの比重の軽さを克服
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	北九州エコプレミアム選定商品

22.14.4 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	スチール缶	10,650	6,901	t
	アルミ缶	5,326	5,718	t
販売実績量の推移	スチールペレット	5,678	5,323	t
	アルミペレット	4,808	5,166	t
	アルミブリケット	0	91	t
主な調達先	金属スクラップ業、非鉄金属スクラップ業、産業廃棄物処理業、商社			
主な供給先	高炉メーカー、電炉メーカー、アルミニウム二次合金メーカー			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	アルミブリケットの開発に取り組み、商品化を実現した。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	100,916 千円 内訳 アルミブリケット開発 77,035 千円 その他 23,881 千円			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	アルミペレットを韓国へ輸出(H23 年度～)			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	平成 21 年度 ものづくり中小企業製品開発支援補助金			

22.15 コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社（北九州さわやかリサイクルセンター）

22.15.1 企業情報

名 称	コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社（北九州さわやかリサイクルセンター）			
本社住所	〒811-3125	福岡県古賀市谷山 871 番地 （北九州さわやかリサイクルセンター：福岡県北九州市若松区響町 1-105-16）		
資本金、出資金	22,350 千円			
従業員数	800 人（北九州さわやかリサイクルセンター：30 人）			
設立年月日	昭和 47 年（北九州さわやかリサイクルセンター：平成 15 年）			
URL	http://www.ccwest.co.jp/			
事業概要	<p>■缶・ビン・PET ボトルのリサイクル部門 【圧縮】コカ・コーラウエスト株式会社の事業所から排出される廃プラスチック類、金属くずを選別後、圧縮し、売却する。 【破碎】コカ・コーラウエスト株式会社の事業所から排出されるガラスくずを破碎し、最終処分を委託する。</p> <p>■廃棄自販機のリサイクル部門 【圧縮】コカ・コーラウエスト株式会社の事業所から排出される廃棄自動販売機を圧縮し、売却する。</p>			
事業所写真	空容器処理施設 		廃棄自販機処理施設 	
問合せ先窓口	部署名	機器管理部 北九州さわやかリサイクルセンター		
	担当者名	川本 祥平		
	連絡先	電話番号	093-752-1881	
		FAX	093-752-1884	
E メールアドレス	shouhei-kawamoto@ccwest.co.jp			

22.15.2 技術情報(1)

キーワード	空容器			
技術名称	選別/圧縮			
技術の分類	破碎・選別 減容・圧縮			
目的・用途	自動販売機横の回収ボックスから自社回収した使用済空容器を中間処理し、売却する。			
特長	コカ・コーラウエストグループをあげて循環型社会の実現に取り組んでおり、事業所から排出されるも廃棄物をリサイクルする施設をグループ自ら有している点。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	<p>処理方式</p> <pre> graph TD A[受入ホッパにショベルで ビニール袋入りの 廃プラスチック類・金属くずを投入] --> B[供給コンベヤで運ばれ、 破集袋機でビニール袋が破られる] B --> C[破られた袋は、外部へ処理委託] B --> D[その後、磁選コンベヤで、 磁選機によりスチール缶（金属くず） が選別され、圧縮機で圧縮処理] D --> E[その後、手選別コンベヤで、 手選別によりペット（廃プラスチック類） が選別され、圧縮機で圧縮処理] E --> F[その後、手選別コンベヤで、 手選別により樽（ガラスくず）が選 別され、破碎機で破碎処理される] F --> G[その後、手選別コンベヤで、 最後に残ったアルミ缶（金属くず） が選別機で選別され、圧縮機で圧縮] </pre> <p>機械型番: WFP1-30 機械型番: YB-40P-A-31 機械型番: T-5 機械型番: WFP1-15</p>			
廃棄物の種類	産廃	PETボトル	受入条件、形状	固形状
	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	固形状
	産廃	その他金属くず (品目:スチール缶、アルミ缶)	受入条件、形状	固形状
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	固形状

アピールポイント	廃棄物等 排出者側 のメリット	例) 処理料金、買 取料金、環境負荷 削減効果、等	コカ・コーラウエストグループは、これからの環境問題の解決には企業が大きな責任・役割を果たす必要があると考え、2003年10月、北九州エコタウン地区に空容器の再資源化を推進するためのリサイクル施設「北九州さわやかリサイクルセンター」を建設し、運営を開始いたしました。これは、循環型社会の実現に向けた取り組みの一步であると考えています。
	その他	例) 受賞歴、施設 見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年、北九州市より「産業廃棄物処理業優良業者」選定 ・平成23年、国より「平成23年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」受賞 ・平成25年、福岡県より「平成24年度ゼロエミッション推進処理事業者知事表彰」受賞

22.15.3 技術情報(2)

キーワード	廃棄自動販売機		
技術名称	圧縮		
技術の分類	減容・圧縮		
目的・用途	老朽化や損傷により使用不能となった販売機器を中間処理し、売却する。		
特長	コカ・コーラウエストグループをあげて循環型社会の実現に取り組んでおり、自販機は飲料ビジネスに直結するものであるが、その廃棄に至るまで処理する施設をグループ自ら有している点。		
設備等の写真			
処理フロー図	<p>圧縮施設 処理方式</p> <pre> graph TD A[廃棄自販機を受け入れ、フロンガスを回収する] --> B[フロンガスは処理を委託] A --> C[手作業で廃棄自販機の解体を行い、コンデンサーや配線・機番などの有価物を取り除く。] B --> D[コンデンサーや配線・機番などの有価物は売却する。] C --> D C --> E[廃棄自販機をリフトでプレス機に投入し、圧縮し、売却する。] E --> F[ガラスくず(廃蛍光灯)は処理を委託] </pre> <p>機械型番: KSP-290AS(R)</p>		

廃棄物の種類	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	固形状
	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	固形状
	産廃	その他金属くず(品目:自販機本体)	受入条件、形状	固形状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	コカ・コーラウエストグループは、2003年、北九州エコタウン地区に空容器の再資源化を推進するためのリサイクル施設の運営開始をしておりましたが、同事業所を拡張して2008年、廃棄自販機の自社処理施設を新たに開設しました。循環型社会の実現に向けての取り組みを重ねております。	
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	廃棄自販機リサイクル施設への見学者受入 ・平成23年:457名 ・平成24年:712名 ・平成25年:733名 平成23年、北九州市より、見学者を積極的に受け入れているとされ「感謝状」をいただきました。	

22.15.4 実績情報


	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	空容器	7,177	5,663	t
	廃棄自販機	0	4,256	t
受入可能量	廃プラスチック類	-	7,860	t
	金属くず	-	19,380	t
	ガラスくず	-	9,012	t
販売実績量の推移	PET	1,176	1,065	t
	アルミ/スチール他	3,365	6,818	t
主な調達先	コカ・コーラウエストグループの事業所 空容器部門:福岡県/佐賀県/山口県の事業所 廃棄自販機部門:北部九州地方/中国地方の事業所(H26年より南部九州地方の事業所を追加予定)			
主な供給先	非公開			

22.17 光和精鉱株式会社

22.17.1 事業者情報

名 称	光和精鉱株式会社			
本社住所	〒804-0002	福岡県北九州市戸畑区大字中原 46-93		
資本金、出資金	10 億円			
従業員数	150 人			
設立年月日	1961/2/10			
URL	http://www.kowa-seiko.co.jp/			
事業概要	<p>○製鉄ダストのリサイクル ～ 新日鐵住金(株)八幡製鐵所で発生する製鉄ダストを処理(=「塩化揮発による不純物元素の除去」と「成型・焼成」)し、製鉄ペレットとして再資源化</p> <p>○各種廃棄物の処理 ～ 上記の処理プロセスの中で、各種の廃棄物を処理(=「廃油による燃料油の代替 等の廃棄物による原燃料の代替」や「含塩素廃棄物を塩化揮発の塩素源として活用 等の補助材料化」)により、廃棄物を有効活用しつつ処理)を実施し、「要埋め立て残渣を生じないゼロエミッション」の廃棄物処理を実現。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	戸塚 司		
	連絡先	電話番号	093-872-2100	
		FAX	093-884-0666	
E メールアドレス		totsuka@kowa-seiko.co.hjp		

22.17.2 技術情報(1)

キーワード	製鉄ダスト, リサイクル, 塩化揮発			
技術名称	製鉄ペレットの製造			
技術の分類	加工・成型(再生品化)			
目的・用途	製鉄ダストのリサイクル			
特長	塩化揮発法により、不純物除去と成型・焼成を実施			
設備、製品等の写真、イメージ	 ペレットキルン  製鉄ペレット			
処理フロー図				
廃棄物の種類	有償	製鉄ダスト	受入条件、形状	高炉集塵ダスト
供給資源・製品	製鉄ペレット		形状	10mm φ
アピールポイント	<p>廃棄物等排出者側のメリット</p> <p>例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等</p>	<p>製品購入者側のメリット</p> <p>例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等</p>	<p>八幡製鉄所より原料となる製鉄ダストを購入し、生産した製鉄ペレットは八幡製鉄所に販売する。八幡製鉄所にとっては、「貴重な鉄原を社外に流出させる事無く、自社の原料として再利用できる。」、「高不純物・粉状で使用困難な製鉄ダストが、低不純物・球形の製鉄ペレットに加工される事により、高炉原料として使用可能となる。」等の点で、メリットがある。また、除去した製鉄ダスト中の不純物元素(Zn, Pb等)についても、回収して非鉄精錬会社に非鉄金属原料として販売・活用している。製鉄ダストに含まれる炭素分(コークス粉由来)も、焼却熱で蒸気を作る事で熱回収している。マテリアルリサイクル, サーマルリサイクルで総合的なリサイクルを実現している。</p>	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	PCB汚染物の処理
----------	---------------	------------------------	-----------

22.17.3 実績情報


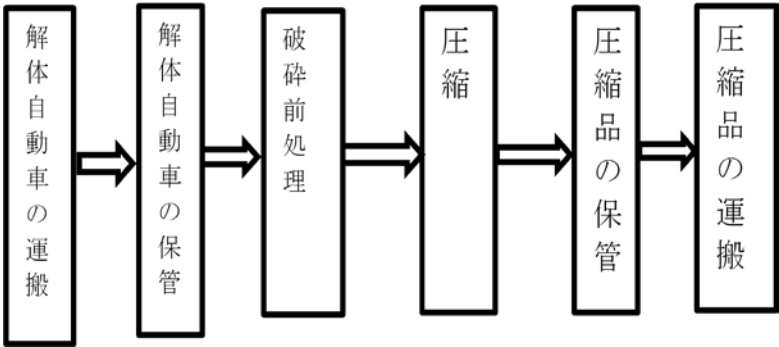
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥	32,246	27,620	Ton
	廃油	39,452	30,467	Ton
	廃酸	40,206	35,227	Ton
	廃アルカリ	60,262	54,978	Ton
	その他の各種廃棄物	28,050	20,737	Ton
販売実績量の推移	製鉄ペレット	116,827	116,975	Ton(Dry)
	セメント焼鉱	33,167	12,051	Ton(Dry)
	水酸化亜鉛	3,852	3,376	Ton(Dry)
	銅滓・金銀滓	975	591	Ton(Dry)
	その他(石膏 等)			Ton(Dry)
主な調達先	主要な原燃料の調達先は新日鐵住金(株)八幡製鐵所〔製鉄ダスト, LD G〕。副資材(排水処理の石灰・炭酸カルシウム など)については、省略。			
主な供給先	当社の業である製鉄ダストのリサイクル, 及び, 廃棄物(産廃, 一廃)の処理を通じて生産・回収した製鉄ペレット, 蒸気, セメント焼鉱, 水酸化亜鉛, 銅滓, 石膏 等については、製鉄業, 非鉄製錬業, セメントへ向けて出荷・販売しています。			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	製鉄ダストの処理について長年の研究実績があります。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	年間約 10 億円程度の設備投資を行っています。			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	当社事業としての海外展開は実施していません。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	グリーンニューディール事業の補助金を受けております。			

22.22 北九州 ELV 協同組合

22.22.1 事業者情報

名 称	北九州 ELV 協同組合			
本社住所	〒808-0021	北九州市若松区響町 1 丁目 62 番地 25		
資本金、出資金	1,100 千円			
従業員数	7 人(組合員数)			
設立年月日	平成 17 年			
URL	http://			
事業概要	<p>・廃自動車を購入し解体して中古パーツやエンジン等を外し 共同処理場に設置したプレス機で車輻本体部分を サイコロ型にプレスして鉄工会社等に販売する。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	北九州 ELV 協同組合事務局		
	担当者名	舌間 宗俊		
	連絡先	電話番号	093-752-1185	
		FAX	093-752-1186	
E メールアドレス		kitaelv@crest.ocn.ne.jp		

22.22.2 技術情報

キーワード	廃プラスチック、金属くず、ガラスくず		
技術名称	廃自動車解体		
技術の分類	その他(中古部品の再利用)		
目的・用途	中古部品の再利用による資源の確保		
特長	自動車リサイクル法の適用事業所		
設備、製品等の写真、イメージ	<p>部品を取り除いた後の胴ガラを当プレス機でサイコロ型に圧縮する(製品)</p> 		
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状
	産廃	金属くず	受入条件、形状
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状

供給資源・製品	廃自動車		形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	枯渇性資源の節減による環境影響の抑制とCO2排出量の削減	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	購入価格低廉価	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> ・年間 100 人程度 ・産業廃棄物処理業優良業者(北九州市) 	

22.22.3 実績情報


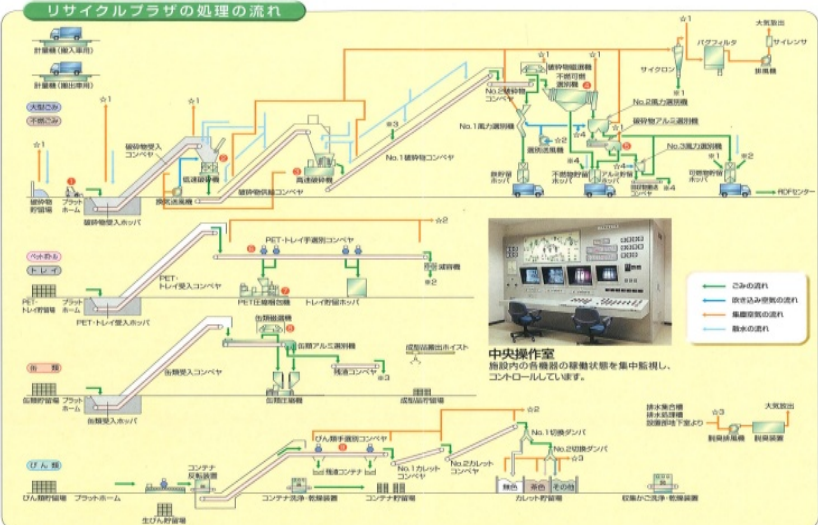
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃自動車	23,400	19,000	台
受入可能量	廃自動車	-	32,000	台
	ガラスくず	21,247	17,274	t
主な調達先	北部九州、山口のディーラー及び自動車整備工場			
主な供給先	九州メタル、九州製鋼			

23.1 大牟田市リサイクルプラザ

23.1.1 事業者情報

名 称	大牟田市リサイクルプラザ			
本社住所	〒836-0011	福岡県大牟田市健老町 467 番地		
資本金、出資金	— 千円			
従業員数	7 人 （運転管理業務委託業者 15 人、手選別業務委託業者 15 人）			
設立年月日	平成 15 年			
URL	http://www.city.omuta.lg.jp/			
事業概要	<p>市内の一般家庭などから排出された「大型ごみ」や「燃えないごみ」を破碎・選別などの処理を行い、鉄くず、アルミくずといった再生利用可能な金属を回収します。</p> <p>また、資源物として回収された空き缶、空きびん、ペットボトル、白色トレイを機械や人の手を使って選別し、圧縮・梱包・袋詰めなどの処理を行い、再生工場へ引き渡しています。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	大牟田市環境部環境施設課		
	担当者名	江崎 雅博		
	連絡先	電話番号	0944-59-1220	
		FAX	0944-59-1221	
E メールアドレス		m-esaki@city.omuta.lg.jp		

23.1.2 技術情報

<p>キーワード</p>	<p>リサイクル</p>			
<p>技術名称</p>	<p>大型・不燃ごみの破碎及び缶等の圧縮</p>			
<p>技術の分類</p>	<p>その他(選別・破碎及び圧縮・梱包・袋詰め・保管)</p>			
<p>目的・用途</p>	<p>ごみの減量化、資源化の促進</p>			
<p>特長</p>	<p>再生利用可能な金属の回収及び資源物の再資源化</p>			
<p>設備、製品等の写真、イメージ</p>				
<p>処理フロー図</p>				
<p>廃棄物の種類</p>	<p>一廃</p>	<p>古紙</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>リサイクル</p>
	<p>一廃</p>	<p>PETボトル</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>リサイクル</p>
	<p>一廃</p>	<p>ガラスくず</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>指定袋、従量制</p>
	<p>一廃</p>	<p>陶磁器くず</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>指定袋、従量制</p>
	<p>一廃</p>	<p>その他(空き缶、空きびん、白色トレイ)</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>リサイクル</p>
	<p>一廃</p>	<p>その他(大型ごみ、不燃ごみ)</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>指定袋、従量制</p>

供給資源・製品	スチール缶、アルミ缶		形状	圧縮成型品
	ペットボトル		形状	圧縮成型品
	破碎鉄、破碎アルミ		形状	現状
	金属くず等、自転車等、電線等		形状	現状
	空き瓶(ビール瓶、一升瓶)		形状	現状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	ごみ処理料金の明確さ(指定袋、従量制) リサイクルによるごみの減量	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	手選別作業によるペット成型品の品質の良 好性	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学は、市内の小学校 19 校延べ人員 819 人、市内の大人 4 組 103 人に対して実施 した。(平成 24 年度)	

23.1.3 実績情報




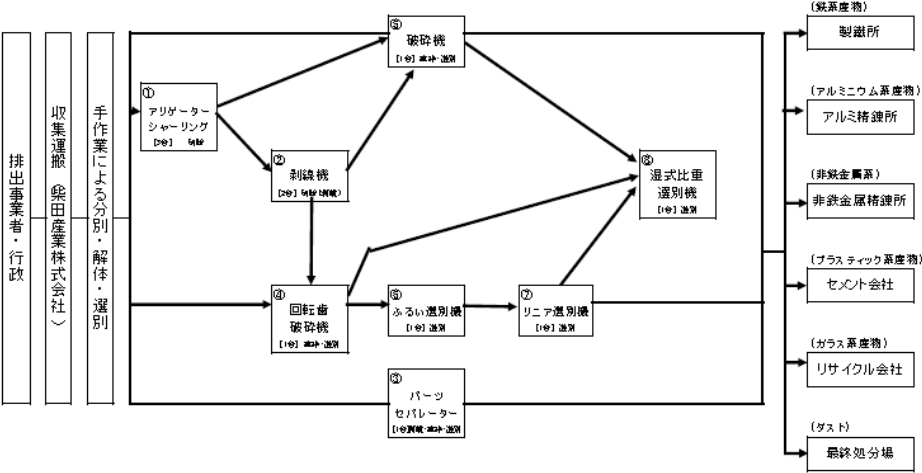
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移 (ごみの搬入量を記入) 小数点以下四捨五入	大型ごみ	212	183	t
	不燃ごみ	1,285	1,296	t
	缶類	393	261	t
	びん類	1,114	1,019	t
	ペットボトル・トレイ	329	228	t
	紙類	237	146	t
	古布	33	39	t
受入可能量 (処理能力を記入) カタログ値	大型ごみ 11.5t/5h			
	不燃ごみ 10.2t/5h			
	埋立ごみ 3.8t/5h			
	びん類 6.4t/5h			
	缶類 3.2t/5h			
	ペットボトル 0.7t/5h			
	トレイ 0.3t/5h			
販売実績量の推移 (売払い実績を記入) 小数点以下四捨五入	破碎鉄	357	274	t
	破碎アルミ	14	19	t
	スチール圧縮成型品	205	138	t
	アルミ圧縮成型品	163	144	t
	金属くず等	60	53	t
	自転車等	42	16	t
	電線等	14	10	t
	生き瓶(ビール瓶・一升瓶)	59	51	t
	PET成型品	232	220	t
主な調達先	市内の一般家庭及び事業者(一般家庭から排出されるものと同様の内容及び量に限る)			
主な供給先	市内業者を優先に、市契約検査室の不用品売り払い・金属の競争入札参加資格者名簿を参考に見積もり合せにより選出 ペットボトルについては、日本容器包装リサイクル協会			

23.4 柴田産業株式会社(大牟田エコリサイクルセンター)

23.4.1 事業者情報

名 称	柴田産業株式会社			
本社住所	〒830-0048	福岡県久留米市梅満町 1246 番地の 1		
資本金、出資金	12,000 千円			
従業員数	70 人			
設立年月日	昭和46年			
URL	http://www.shibata-3r.co.jp			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・電子機器、電子部品、通信機器類、使用済小型家電の MATERIAL リサイクル ・プリント基板よりレアメタル(タンタル)を抽出 ・公認計量事業(70tスケール)、銅・アルミ・ステンレス買入れ ・非鉄金属専門問屋 			
事業所写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>大牟田エコリサイクルセンター</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>大牟田第二工場</p>  </div> </div>			
問合せ先窓口	部署名	大牟田エコリサイクルセンター		
	担当者名	本村 龍一		
	連絡先	電話番号	0944-41-1341	
		FAX	0944-41-1348	
Eメールアドレス		recycle2@shibata-3r.co.jp		

23.4.2 技術情報

キーワード	使用済小型電子機器、廃基板、廃IC、レアメタル(タンタル)			
技術名称	解体粉碎選別技術			
技術の分類	ベースメタル、貴金属、レアメタルのリサイクル			
目的・用途	使用済小型電子機器、使用済産業機械、通信機器等の廃基板よりレアメタルをリサイクルする。			
特長	都市鉱山と言われる廃基板からレアメタルを抽出するためのきめ細かな選別を可能としました。			
設備、製品等の写真、イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div> <p>破碎選別ライン</p>  </div> <div> <p>リニア選別機</p>  </div> <div> <p>篩選別機</p>  </div> </div>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	その他金属くず	受入条件、形状	産業用機械等
	産廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	塩ビ管など塩素を含まない物
	一廃	廃小型家電類 (家電4品目以外)	受入条件、形状	行政等で回収された使用済み電子機器等
	有償	その他(ケーブル)	受入条件、形状	電力・通信等のケーブル
	有償	その他金属くず (品目: 銅・真鍮・砲金・アルミ等)	受入条件、形状	スクラップ等

供給資源・製品	廃基板		形状	破砕品
	タンタル		形状	基板より小型コンデンサー切り取り
	アルミ缶・スチール缶・解体サッシ等		形状	プレス品
	銅線・アルミ鋼線		形状	ナゲット
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却埋立処分を減量し再資源化することで循環型社会構築に貢献できる。 ・日本はほぼ全てを輸入に依存している希少金属(レアメタル)の備蓄が可能となる。 	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	バージン資源に劣らぬ品質と低価格で調達でき、環境負荷も軽減できるという二つの側面から社会貢献できます。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> ・350人の施設見学の受け入れを実施(24年実績) ・全国産業廃棄物連合会 大1回「優良従事者表彰」受賞(23年受賞) ・「福岡県ゼロエミッション推進処理事業者知事表彰」受賞(24年受賞) ・全国産業廃棄物連合会「地方功労者表彰」受賞(25年受賞) 	

23.4.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃プラ	非公開	非公開	t
	ガラス屑	非公開	非公開	t
	金属屑	非公開	非公開	t
	廃プラ・金属屑	非公開	非公開	t
	がれき類	非公開	非公開	t
受入可能量	廃プラ	-	4,500	t
	ガラス屑	-	1,300	t
	金属屑	-	14,500	t
	廃プラ・金属屑	-	9,500	t
	がれき類	-	5,100	t
主な調達先	主に電力会社・通信業・家電製造業など			
主な供給先	製鉄所・アルミ精錬所・非鉄金属精錬所・セメント会社など			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	製錬会社と提携し、廃基板よりタンタル(レアメタル)を抽出技術。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	4 億円を投じて大牟田エコタウン内に第二工場を建設。これによってリサイクル率が 97%超となった。			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	・韓国蔚山市において「電子基板から得られるレアメタル濃縮技術」について講演を行った。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	・経済産業省「希少金属利用産業等高度化推進費補助金」(22 年) ・大牟田市「企業立地奨励金」(25 年)			
その他実績	平成 25 年 4 月 1 日施行の「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づく「再生資源化事業計画」の認定を受け認定事業者として広域回収を行っています。			